

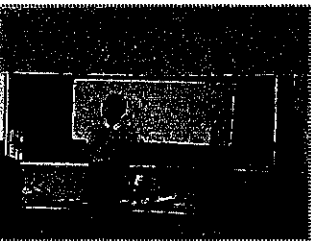
11月22日(水)10時から弥生区民活動センターで、第9回地区懇談会を開催しました。今回は、講師にNOPエガリテ大手前理事の三浦優子氏をお招きし、各地でソフリエ講座を開催されている状況や、子育て支援へのメッセージをお話いただきました。

## 講演会『オトコの子育て参加を考える』 NOPエガリテ大手前 三浦 優子 氏

### NPOを立ち上げたきっかけ

私たちの世代は、ちょうど高度経済成長期に進学就職をして働いてきた。50代半ばとなり、ゆっくり考えられる時期に入ったからこそ、世の中の役にたてることではないかと、高校時代の同窓生でNPOを立ち上げた。

### ソフリエ講座を開催することになった経緯



昔は子育てが地域で支えられていた。今は核家族化の中で、子育て中のお母さん方をつなげていく必要がある。一方、子育てしやすさについての調査では、保育士の確保が難しいという状況もあり、支える側の現場の負担が大きいなど色々な問題がある。

そこで、公的機関に頼るのではなく、長寿社会の良さを子育てに活かせないかと考え、元気なおばあちゃんやおじいちゃんたちを結びつけて活動してもらえたらと思い『孫育てハンドブック』

を作成した。ハンドブックには、お母さん方を支える人として、おじいちゃんやお父さんが援助の手を差し伸べてもらえるようなノウハウがのっている。その後これがソフリエ講座となった。

### ソフリエ講座の一日

ソフリエ講座では、①子育ては親の方針が絶対 ②親とのコミュニケーションを大切に ③育児を楽しむこと この三つを『ソフリエール』として学ぶ。次に子どもの成長と発達、例えば赤ちゃんとの接し方やミルクの与え方など栄養について学ぶ。午前の部最後は自分の食事の用意を兼ねて、離乳食を取り分けて作る調理実習をする。午後の講座では、赤ちゃん人形を使用して抱き方や沐浴を体験し、安全面について健康管理や事故防止などの講義を受ける。講座の最後にはふれあい編として、手遊び・歌遊びや新聞紙を使った遊びなどを紹介する。



### ソフリエ講座終了後

講座を受講したソフリエ認定者は100人を超えた。講座終了後のアンケートで様々な意見をいただいている。

- おじいちゃんのやる気を家族に認めてもらえた。
  - 家族の見る目が変わった。
  - 実習が多かったのでわかりやすかった。
  - ネーミングにひかれて参加した。
  - 認定書をもらいたかったので参加した。
  - 家族に背中を押され参加して良かった。
- 三重県の津では、講習会が終了後で「ソフリエ会」が誕生した。イベントがある時に一時保育で活躍している。



### 子育て支援への想い

自分が初めて子育てした場所は海外だった。同じアパートのおばあちゃんにいろいろと助けてもらい、子どもたちは見守られていた。その後、日本に戻って子育てした時も、隣の奥さんに助けてもらった。その時の奥さんに「自分も近所の奥さんに子育てを助けてもらった。あなたも次の人を助けてあげて」と言われた。

「袖振りあうのも多生の縁」。たまたま関わった人が、縁あるもの同士助け合う。縁を大切にしたい。受けた恩はその人に返すのではなく、他の困っている人に差し伸べる。この考えを持って、子育てを支援している。

### 懇談会終了後 参加者のアンケートより

- 両親だけではなく、家族や地域の様々な世代が子育てに関わることが、赤ちゃんだけではなく社会にとって大切なのだと思った。
- まわりに助けていただいた子育てを、次の世代に返していくという縁・つながりのお話が印象に残った。
- 自分の子育てが終わったら、まわりの困っている人を手助けしていきたい。
- 仕事をしている父親の育児参加についてももっと聞きたかった。



二中地区懇談会マスコット

『ニコちゃん』

地区懇談会は中野区の中学校区ごとに設置され、子どもと子育て家庭を支える地域づくりを進めるため、家庭・地域・学校が連携し、0歳から18歳までの子どもや家庭に関わる課題の解決に向けて取り組んでいます。第二中学校区地区懇談会のテーマは『地域でいきいき子育て』です。幅広い子どもの年代の中から、特に乳幼児期に注目して懇談を深めています。

第二中学校区地区懇談会の事務局は、次世代育成委員と地域の児童館が担当しています。

次世代育成委員：田中学 太田 陽子 那須 京子

宮の台児童館(3384-4449) 弥生児童館(3372-0841) 朝日が丘児童館(3373-0380)

ご意見、お問い合わせ等、お気軽にお声掛けください。